



平時に確認！必ず取り組みましょう

## 台風・豪雨時にハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しましょう。

### 避難行動判定フロー

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印を付けてみましょう

※ハザードマップは、浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です(着色されていないところでも災害が起こる可能性があります)。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として自宅の外に避難が必要です

例外

浸水の危険があっても

①洪水により家屋が倒壊または崩落する恐れが高い地域の外側である。

②浸水する深さよりも高い所にいる。

③浸水しても水が引くまで生活できる。

水・食糧などの備えが十分にある場合は、自宅に留まり安全を確保することもできます。

※土砂災害の危険があっても頑丈なマンション等の上層階に住んでいる場合は、自宅に留まり安全を確保することもできます。

自分または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な場所の親戚や知人宅に避難しましょう(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な場所の親戚や知人宅に避難しましょう(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう